

令和6年度第1回下関市地球温暖化対策実行計画推進協議会 議事録

日時：令和7年2月27日（木）14:00～15:30

場所：下関市リサイクルプラザ啓発棟3階

第1研修室

1 開 会

配付資料確認の後、本協議会が原則公開であることと傍聴要領の遵守及び議事録作成について説明を行った。

出席者：下関市地球温暖化対策実行計画推進協議会委員16名（欠席者4名）、事務局9名（下関市環境部）

資 料：資料1－1 下関市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の年次報告
資料1－2 下関市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の年次報告
資料2 下関市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の一部改訂の報告について
別紙1 下関市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）進捗管理表（令和5年度年次報告）
別紙2－1 下関市地球温暖化対策実行計画 一部改訂 新旧対照表
別紙2－2 下関市地球温暖化対策実行計画 一部改訂 素案

2 議 事

- （1）下関市地球温暖化対策実行計画の令和5年度年次報告について
 - ・事務局から、資料1－1、資料1－2、別紙1に沿って説明
- （2）下関市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の一部改訂の報告について
 - ・事務局から、資料2、別紙2－1、別紙2－2に沿って説明

【主な質疑等】（要約）

（1）下関市地球温暖化対策実行計画の令和5年度年次報告について

会 長：資料1－1の1. 下関市域の温室効果ガス排出量の実績について、発電所の廃炉はどの部門の増加にかかっているのか、廃炉工事はいつまで行われる予定なのかを教えてください。

事務局：発電所の廃炉につきましては、「エネルギー転換部門」の増加に属しております。また、廃炉工事は2024年1月に終了しておりますが、温室効果ガス排出量の実績に反映されるまで2年かかることになっており、今年度の報告は2021年度実績になります。

A委員：別紙1の進捗管理表について、施策が終了したものに関してはどのように残していくつもりか

事務局：次の改定まではそのまま残しておき、改定時に担当部局と残しておくか協議を行う。

会 長：資料1－2の3. エネルギー使用量（項目別）の実績について、電気使用量の減少は再エネ導入が進んでいることによるものか？

事務局：再エネ導入自体はあまり進んでおらず、省エネ効果による電気使用量の減少なのではないかと考えられる。

（2）下関市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の一部改訂の報告について

B委員：地域新電力のところににつきまして、質問をさせていただきます。

60%以上ということの設定目標ですが、これは調達電力であって、自家発電といいますかそういったものを含まない数字なのかというのが1点。もう1点は、調達電力の60%以上再生可能エネルギーというのをどのようにして確認するのか。

事務局：再生可能エネルギー電力の調達の部分ですけれども、メインの電源が市の焼却場である奥山工場から調達しますが、あとの不足分を例えば地域の太陽光発電であったり、長府にバイオマス発電所もできましたので、このバイオマス電力を調達したり、そういったものを活用して脱炭素化をするように考えている。

60%以上の確認の部分につきましては、各施設の所管課が今契約をしている電力の契約ベースで、再エネ電力を契約したものをカウントして確認していきたいと考えている。

B委員：「電気の使用によって排出される温室効果ガスは、電力排出係数に大きく影響を受ける」という記載があるが、一般的には少し分かりづらいという印象を受けた。再生可能エネルギーを導入することで電力排出係数が減る、というような説明があれば分かりやすいと思いました。

C委員：海響みらい電力について、教えてください。

事務局：昨年6月に、下関市が3分の1を出資して、他のいくつかの会社とともに海響みらい電力という地域新電力会社を立ち上げている。今後、色々なところから再エネ電力を調達して市内に供給していく予定である。